

藤嶺藤沢高校だより 11月号

勇猛精進
質実剛健

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
TEL 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 林 学)

2021年11月8日(月)発行

緊急事態宣言解除から1ヵ月

新型コロナウイルス感染症「第5波」に対して出されていた緊急事態宣言が、全面解除されて1ヵ月となりました。心配された生徒への感染報告はなく、学校としては安堵しているところです。また、生徒の皆さんのワクチン接種もかなり進んでいる様子であることも、安心材料となっています。ただし、「第6波は必ず来る」と言っている専門家もいますので、引き続き感染防止対策は必須であることを忘れてはなりません。



さて、昨年に引き続き体育祭の実施は見送りとなり、その代替行事として11/2(火)に球技大会が行われました。生徒諸君が競技に熱中している姿、チームのために献身的な活躍をする姿を見ることができ、大変嬉しく思いました。感染防止の観点から応援に関しては制限せざるをえず、多少寂しい感もありましたが、やはり体育行事も必要であると再認識できました。来年こそは従来の体育祭を実施できる環境になることを心から祈ります。

11/4(木)より教育実習生を5名受け入れています。5名中4名は本校の卒業生、1名は鶴沼高校の卒業生です。教科は、国語・数学・理科(2名)・情報で、配属は中学1名・高1学年3名・高2学年1名となっています。生徒諸君には少しばかり迷惑のかかる部分もあるとは思いますが、「卒業生」「現役の大学生」と触れ合う機会にもなりますので、積極的に話しかけてみるのも良いかと思えます。

酔芙蓉(すいふうよう)

夏から10月頃にかけて、淡紅色または白色の花を咲かせる落葉低木の「芙蓉」を知っているでしょうか？その「芙蓉」の一種に「酔芙蓉」というものがあります。花の咲く時期は芙蓉と同様ですが、その八重咲きの花は、朝咲き始めた花卉は白いのですが、時間がたつにつれて(夕方には)ピンクに変色するのです。花の色が変わるさまを酔って赤くなることに例えて「酔芙蓉」の名がついています。1本の木に白色の花とピンク色の花が咲いている様子は、一見の価値あります。

あかつきの清気真白の酔芙蓉 河野静雲

※河野静雲：明治20年11月6日－昭和49年1月24日。時宗僧侶、俳人。福岡県福岡市出身。

【遊行寺「遊行の一寸火」】

時宗総本山遊行寺では、毎年11月18日から11月28日まで「歳末別時念仏会」という特別な法要が行われます。この法要は、一遍上人以来今日まで700年以上も続けられている厳しい修行です。明治の頃までは12月24日から30日までの七日七夜にわたる行事でしたが、近年では11月に執り行われ、27日夜には「御滅燈(おめつとう)」の式、つまり「一寸火」の儀式が行われます。この儀式は1年間の罪業(ざいごう)を懺悔(さんげ)して心身ともに清浄になって新しい年を迎えることと、さらに重要なことは、極楽世界への往生を体得することだと言われています。

この修行の中で最も厳粛なのは「一寸火」の式です。27日の夜は、遊行寺本堂内の一切の灯火が消されて、静まりかえった暗闇の中で式が始まります。遊行上人の底力のある念仏が静かな堂内に満ちてくると、末法のこの世の中に念仏のみがただ一つの救いであることが、胸の奥深くに沁み通るようであり、しばらくの間は身じろぐ人もいません。そして、新しい火が打ち出されて、次々に仏前の灯火が点じられていきます。堂内が次第に明るくなり、居並ぶ修行僧の顔が見え始める頃には、念仏の声も一段と高く響き渡っていきます。闇黒と光と念仏と、人々はこの3つが織りなす雰囲気感激し、念仏のありがたさを体得するのです。ここに700年余にわたる伝統の火が念仏とともに輝き出すのです。

【11月の主な行事予定(高校)】

8	月	全英語スペリングコンテスト(1限)	毎朝自宅で検温し、 Classi-Fit 報告した上で 登校して下さい。
10	水	高2 総合学力テスト(終日)	
16	火	高1 修養(5・6限)	
17	水	全校内弁論大会決勝(5・6限)	
18	木	高2 修養(5・6限)	
22	月	高3 3者面談週間 (4時間授業 / 11/23を除く / ~11/27まで / 対面実施)	
23	火	「藤嶺祭」学校HPにて公開	
29	月	全期末試験1週間前	